

本部トシ国負シ收容ニ全額贈與合同并續行本部ト共同手  
入セシメ隣接セル因合友禱身ニ支部嘉重事議団ト共同手  
ヲ納ス

其後交渉約十回申議団ハ極度ニ疲弊シ解決シ急キ別項ノ如  
ク二回ノ警察事故ヲ惹起セルカ終始関東合同労働組合本部  
負池田恭而ノ指揮ノ下ニ結束セリ

一 事業主側

1) 事業主ハ六月七日解雇職工十名ニ解雇通知ヲ出シ、  
三名ヲ使用外業ヲ繼續シ煙突異リノ予防ノ為ニ名ノ警戒負  
ヲ以テ警戒ス

2) 事業主ハ七月二十日社員會議ヲ開キ本事業ニ關スル事務  
ハ代表社員ニ一任セルヲトシ決定セリ

3) 事業主ハ七月二十六日交渉ニ關スル一物ノ權限ノ逸行  
任代書人山川島一ニ委任セリ

一 交渉状況

1) 七月六日事議団代表ハ工場主ニ対シテ解雇通知ヲ一拒返  
シ強職ノ要ホク為シタルニ不調ニ終シリ

2) 事議団代表小川忠外十名ハ七月十八日工場有張責任社員  
西川政吉ヲ日本橋区弥生町ノ商店ニ訪ヒ面會シホメタルカ  
果カス更ニ七月二十日訪問シ代理原田ト面會シ解決斡旋ヲ  
依頼モラセリ

3) 事議団代表池田恭助外四名ハ七月二十六日工場ニ事業主代  
表ヲ訪問セルカ個人謝辞申出入違有村違有居住代書業山川  
島一交渉ニ當ラムトセル為交渉不能ニ終ル

4) 七月二十七日謝辞者兼事業主代表タル山川島一ハ事議団本  
部ニ事議団ヲ訪ヒ謝辞ヲ申込ケ為ヒタルカ事議団ハ之ヲ引  
受ケスレシ別ル

5) 事議団代表池田恭而外二名ハ九月二日及三日、西日山川島